



2024.1.19 第2回中央委員会開催! 2024春季生活闘争スタート!!



議長 鶴田中央委員
＜凸版印刷労働組合＞

2024年1月29日(金)、第2回中央委員会がチサンホテル浜松町においてWEBを併用して開催されました。議長には凸版印刷労働組合の鶴田中央委員が就任し、メイン議題の「2024春季生活闘争方針(案)」は満場一致で確認されました。

第2回 中央委員会議事

<経過報告>

1. 内部・外部関係活動報告
2. 2023年度半期決算報告
3. 2023年度半期会計監査報告

<議 事>

1. 2024春季生活闘争方針(案)について

佐藤中央執行委員長より挨拶

本日は、第2回中央委員会にご参集いただき感謝を申し上げます。また、本年も宜しくお願い致します。

連日報道されております能登半島地震では、200名を超える尊い命が失われました。亡くなられた方々に哀悼の誠を捧げるとともに、ご遺族の方々には、心からお悔やみを申し上げます。また、震災により避難生活を余儀なくされた方々が1万5千人以上と発表されております。石川県は雪に見舞われ、寒い毎日に耐えながらの避難生活が続いております。心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧と復興、そして元の生活に戻ることをお祈りしたいと思います。さらに、過酷な災害現場では、自治体職員、自衛隊や医療従事者、インフラの復旧に携わる電力、ガス、水道事業者など、多くの働く仲間が懸命に努力しておりますことに、心から敬意を表したいと思います。印刷労連としても、連合とともに出来る限りの支援をしていきたいと思っております。各構成組織におかれましては、周りの組合員の方にも声掛けをいただき、一人でも多くのご支援を賜りますよう、ご理解とご協力をお願い致します。

本日は、2024春闘方針(案)を審議いただく重要な中央委員会となっております。昨年は、30年ぶりの高水準での賃上げが実現できました。交渉に当たられた組合役員はもとより、職場組合員の方々の奮闘に心から敬意を表します。しかし、その成果を超える物価高が続く、実質賃金はマイナスを更新し、23年11月の実質賃金は3.0%減と、20カ月連続でマイナスになっています。長い間、賃金は上がらないというノルム(予想)を2023春闘で打破し、「賃金は上げることができる」という実績をつくることができました。今年は、経済の成長と共に「賃金が上がり続ける」ことを根付かせる転換点にしなければならず、それを実現する正念場の春闘と言えます。日本の企業の99.7%、労働者の7割を中小企業が占めています。印刷労連も多くの中小企業組織で構成されております。そのうえで、改めてご参集の皆様に関わりたいと思います。「労働組合は何のために存在するのか」。一人一人の力は小さく弱くても、その小さな力が結集することで大きな力となり、不可能を可能にすることができます。それこそが労働組合が存在する意義です。ならば、今春闘こそ、「賃金は上がり続ける」ことを実現するため、構成組織の全ての組合員の力を一つの塊にして、最後まで全力で春闘に取り組みましょう。そして、労働組合が持つ本来の「価値」を高めて行きましょう。中央委員の皆様には、本日もご提案する2024春闘方針(案)について、忌憚のないご意見やご

質問をいただき、総意を持ってご確認いただくことをお願いしたいと思っております。昨年9月の大会から、既に5カ月が経過しようとしております。この間、運動方針で確認された取り組みについて、各専門委員会を中心に議論を進め、具体的な施策に入っております。

産業政策委員会は、支援議員へ提出する要望書を取りまとめ、12月に産業政策懇談会を開催し、浜野・竹詰参議院議員に提出しました。また、業界団体である日印産連に対しても、印刷労連の取り組みに理解をいただくため、訪問オルグも行って参りました。さらに、印刷関連労組との連携として、UAゼンセン紙業・印刷業種部門とも情報交換会を行ってきました。

労働条件委員会は、2024春闘に向けて情勢分析や、各種調査活動の集計と分析を行うとともに、方針案の策定を進めて参りました。

組織委員会は、市場環境が厳しさを増す中で、組織の抱える課題解決に向けた施策について検討を進めるとともに、ヒアリング調査による実態把握の準備を進めてきました。この調査については、全ての構成組織から提出いただかなければ、課題の本質を掴むことはできませんし、解決策を導き出すことを難しくなりますので、是非ともご理解とご協力をお願い致します。

教育広報委員会は、印刷労連の取り組みが、まだまだ、広く一般組合員まで浸透しきれていない現状を踏まえ、どのような手法を講じればよいのか、新たな視点も含めて改善策を検討しております。本部としても発信力を高める取り組みを進めますが、構成組織組合員の皆様にも積極的に印刷労連の情報を取りに行ってくださいようご案内をお願い致します。

新設したジェンダー平等推進委員会は、男女平等参画を推進すべく、新たな企画を検討し、一人でも多くの組合員に参画いただき、関心を高めてもらう取り組みを進めて参ります。様々なイベントや学習会など、お声がけがあった際は、遠慮せず、率先して手を挙げていただければと思います。

今申し上げた取り組みに共通することは、各構成組織、役員、組合員が一層の関与を高めなければ、活動は活性化しませんし、取り組みは前進しないということです。どうか、今まで以上に方針に対するご理解とご協力をお願いします。結びに、2024春闘に向けて、改めて皆様と心合わせを十分に行い、確実な成果へとつながることを誓い合い、冒頭のご挨拶とします。ともに頑張りましょう。



佐藤中央執行委員長

第2回中央委員会の概要

◆挨拶・提案・報告者



司会・開会挨拶
古賀副中央書記長



内部・外部関係活動報告他
大塚中央書記長



2023年度半期決算報告
鈴木財政部長



会計監査報告
島田会計監査



春闘方針(案)・閉会挨拶
水落副中央執行委員長

中央委員会 質問・意見

Q. 印刷労連として「六産別」が集まる会議や情報交換会の出席された報告があったが、「六産別」の内訳を教えてください。

A. 連合は4つのグループに分かれており、その同じグループ内の産別で構成され、その産別はフード連合、ゴム連合、紙パ連合、セラミックス連合、JEC連合、そして印刷労連となる。

Q. HPの専門委員会のお知らせの投稿がされていない。ぜひ投稿していただきたい。議案書の専門委員会について、専門部ごとの報告になっている方が見やすいので検討して頂きたい。

A. 2021年にリニューアルしてから、専門部については更新ができていない部分がある。今後、よりよい形で更新していきたい。専門委員会についても指摘の通り、見やすい工夫をしていきたい。



中央委員会の質問者と中央委員会会場

2023年度 印刷労連「平和4行動」報告会

第2回中央委員会終了後、「平和4行動報告会」を開催しました。報告会の内容については、2023年に開催された連合の4つの平和行動に印刷労連から参加された代表者より、レポートをまとめて頂き、報告を頂いております。

安心して働き、暮らすことには絶対に平和でなければいけません。

過去に日本でも戦争が起き、今でもその大きな爪痕が残っております。二度と戦争を起こさないこと、平和の大切さを学び、継承していくことを、参加者よりレポート頂きました。

<各平和行動の内容についてはNO.229号をご参考ください>



平和行動 in 沖縄報告
トッパン・フォームズ フレンドシップユニオン
須貝代議員



平和行動 in 広島報告
共同印刷労働組合
阿部中央委員



平和行動 in 長崎報告
コクヨ労働組合
阪口中央委員



平和行動 in 根室報告
凸版印刷労働組合
梶原中央委員

<連合平和運動 3つの課題>

- 1.核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と、被爆者支援の強化
- 2.在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しに向けた運動
- 3.北方領土の早期返還と日ロ平和条約の締結をめざす運動

また連合は、毎年6月～9月に行う「平和4行動」をはじめ、労働組合やさまざまな団体・機関と連携・協力し合い、平和運動に取り組んでいます。

連合の平和4行動

平和行動 in 沖縄	第二次世界大戦末期、米軍との3ヵ月に及ぶ「鉄の暴風」とも称される激しい地上戦で約20万人の命が奪われました。特に沖縄出身の犠牲者は約12万2,000人、犠牲者全体の約65%にのぼりました。この悲劇を二度と繰り返さないため、6月23日の沖縄「慰霊の日」に平和の尊さを心に刻んでいます。
平和行動 in 広島	第二次世界大戦終結直前の1945年8月6日午前8時15分、米軍によって原子爆弾が広島に投下。約14万人亡くなり、今も多くの人が後遺症に苦しんでいます。人類史上初めて原子爆弾が投下された広島から世界に向けて、悲劇が二度と繰り返されないよう訴え続けています。
平和行動 in 長崎	広島に続き、1945年8月9日午前11時2分、米軍によって長崎にも原子爆弾が投下。約7万4,000人が亡くなり、約7万5,000人が重軽傷を負ったほか、今も多くの方が後遺症に苦しんでいます。長崎の地から世界に向けて、平和への祈りを込め、二度と核兵器が使われないよう訴え続けています。
平和行動 in 根室	北方四島は日本固有の領土ですが、第二次世界大戦終結直後、ソビエトが侵攻。約1万7,291人の日本人住民が故郷を追われました。それ以降、今日まで、ソビエトそしてロシアによる不法占拠が続いています。領土返還と日ロ平和条約の締結なくして真の平和はありません。

出所 連合HP 7つの絆 平和運動

印刷労連 2024年 春季生活闘争方針(要旨)

「日本経済の好循環と企業の成長を確実なものにしよう!」 ～未来づくり春闘～

印刷労連2024年春季生活闘争方針(要旨)

【情勢認識】

世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻に加え、イスラエルとハマスの紛争による中東情勢への影響が懸念されるなど、不確実性は高まっている。一方、日本経済は、物価高騰や海外経済の減速等により回復に一旦落ち着きが見られる。また、企業活動では、デジタル化・サプライチェーン強靱化・人手不足対応等の構造的な課題解決に向けて取り組みを進めている。

【連合2024年春季生活闘争のポイント】

「未来づくり春闘」を掲げて3回目の取り組みとなる。「未来づくり」とは、経済成長や企業業績の後追いではなく、産業・企業、経済・社会の活力の原動力となる「人への投資」を起点として、ステージを変え、経済の好循環を力強く回していくことを目指すものである。短期的な視点からの労働条件決定にとどまらず、20年以上にわたる賃金水準の低迷、その中で進行してきた不安定雇用の拡大と中間層の収縮、貧困や格差の拡大等の課題について中期的な分配構造の転換をはかり、すべての働く者の総合的な生活改善をはかる。

【基本的な考え方】

(1)「賃上げ」

「人への投資」を念頭に定期昇給相当分(賃金カーブ維持相当分)を確保、賃金水準の絶対値にこだわる。また、「企業内最低賃金」の観点から18歳高卒初任給要求に取り組む。

(2)「一時金」

「年間収入」「生活給的要素」「業績配分」のバランスを考慮する。

(3)「労働諸条件改善」

「すべての労働者の立場に立った働き方の改善」を図り、「人財の確保・定着」と「人財育成」に向けた職場の基盤整備を重要視する。

【要求内容】

(1)賃上げ

①賃上げ(ベースアップ)分は3%以上を基準とし、定期昇給相当分(賃金カーブ維持相当分)を含め5%以上とする。

②具体的目標水準の設定

30歳(第1四分位:221,327円/中位:241,770円/第3四分位:255,928円)、35歳(第1四分位:236,451円/中位:254,950円/第3四分位:277,347円)とする。

(2)初任給

18歳高卒初任給要求は、2023年度労働諸条件調査における1,000人以上の構成組織(加盟組合)を中心とした主要組合※による平均初任賃金が181,100円(前年比+11,030円)となっており、3%分を加えた186,600円とする。なお、既に上回っている組織は現行の初任賃金に3%分を加えて要求する。

※主要組合:凸版印刷、コクヨ、共同印刷、トッパン・フォームズ、図書印刷

(3)一時金

「年間収入」「生活給的要素」「業績配分」のバランスを考慮して、年間4.0カ月を基準とするが、「消費拡大」や「業績配分」を鑑み、さらなる上積みを目指す。なお、季別での要求の場合は、それぞれ2.0カ月を基準とする。

(4)労働諸条件

各構成組織は以下の項目から選択し労働諸条件要求に加える。なお、要求内容の詳細は「印刷労連2024年春季生活闘争労働諸条件要求参考資料」を参考に組み立てる。

ア)「すべての労働者の立場に立った働き方」の改善

- 1)長時間労働の是正
- 2)すべての労働者の雇用安定に向けた取り組み
- 3)職場における均等・均衡待遇実現に向けた取り組み
- 4)人財育成と教育訓練の充実
- 5)60歳以降の高齢期における雇用と処遇に関する取り組み(基本的な考え方)
- 6)改正高年齢者雇用安定法の取り組み(70歳まで雇用の努力義務)
- 7)テレワーク導入にあたっての労働組合の取り組み
- 8)障がい者雇用に関する取り組み
- 9)治療と仕事の両立の推進に関する取り組み

イ)ジェンダー平等・多様性の推進

- 1)改正女性活躍推進法および男女雇用機会均等法の周知徹底と点検活動
- 2)あらゆるハラスメント対策と差別禁止の取り組み
- 3)育児や介護と仕事の両立に向けた環境整備
- 4)次世代育成支援対策推進法にもとづく取り組みの推進

ウ)「ビジネスと人権」の取り組み

- 1)「ビジネスと人権」の取り組み

上記以外の労働諸条件で、引き続き取り組みを継続している構成組織は、要求内容として検討し取り組んでいく。

【闘争の進め方】

■回答指定日(統一回答ゾーン)

・先行組合回答ゾーン:

3月11日(月)～15日(金)

・ヤマ場:3月12日(火)～14日(木)

・上記に間に合わない場合:

3月18日(月)～31日(日)3月内決着を目指す。



2024春闘ポスター

連合「令和6年能登半島地震に対する救援カンパの実施」の取り組みについて

2024年1月1日16時10分頃、石川県能登地方を震源とする大地震により、各地で甚大な被害が生じています。犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、すべての被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

連合は今回の震災に対して、緊急カンパを行い、わたしたち印刷労連としても協力すべく取り組みを進めてまいりました。みなさんのご協力で心より感謝申し上げます。集約状況については後日お知らせいたしますので、引き続きの連携を何卒よろしくお願いいたします。

<編集後記>

令和6年能登半島地震により被害に遭われた皆さまへ、心からのお見舞いを申し上げます。そして、ご家族や大切な方々を亡くされた皆さまへ、謹んでお悔やみを申し上げます。

この記事を書いているのは2月4日。被災地では14,000人以上と大変多くの方が避難されており、水道の復旧を全力で行っているものの、まだ多くの世帯で断水も続いているなどが連日報道されています。倒壊した建物、亀裂の入った道路もまだ手付かずという事でした。1か月以上経過しましたが、まだまだ大変な状況です。そのような中でも、ボランティアの受け入れも始まり、少しずつ復興に向けて動き出しているニュースも増えてきております。早期の復興へ向けて心の底から応援しています。

がんばろう能登! がんばろう石川!!

教育広報委員 井筒